

Dialogue 39 Saying what you hope will happen

-したいことをいう-

教室での活動案

アクティビティ名：「**できたらいいな**」

やりたいこと、なりたいものをたずねたり答えたりする活動。

用意するもの：

- 生徒それぞれに『将来の夢』を考えてきたり、英語で調べたり、絵に描いてきてもらう。（これはレベルに応じて。教師が手助けしながら一緒に考えても良い。）
- 【発展として】：やりたいこと、行きたいところ、会いたい人、100 万円あったらしたいと思うこと、など、テーマを決めてそれに応じて考え、生徒それぞれに自分の考えをまとめたり、英語で調べたり、絵に描いてきてもらう。]

[質問の表現例]

何になりたいか： What do you want to be?

何をしたいか： What do you want to do?

どこへ行きたいか： Where do you want to go?

誰に会いたいか： Who do you want to meet?

100 万円あったら何をしたいか： What do you want to do if you have 1 million yen?

[答えの表現例]

教師になりたい： I want to be a teacher.

パイロットになりたい： I want to be a pilot.

人の役に立ちたい： I want to help other people.

外国へ行きたい： I want to go abroad.

有名人に会いたい： I want to meet famous people.

世界旅行をしたい： I want to travel around the world.

- 1) 生徒に、それぞれが考えてきた『将来の夢』を発表させる。英語の表現などを補いながら、クラス全体で練習する。
- 2) ペア（2 人一組）またはグループになり、質問と答を交互にやり取りして対話練習を行なう。

3) 練習が終わったら当てて、いずれかを言わせる。*(イ)のほうが難度が高い。

(ア) 自分が将来何になりたいかをいう

(イ) 質問の答として聞いた内容をもとに、相手が何になりたいかを発表する。

例)

Teacher: When I was a child, I wanted to be a teacher. Now I am a teacher.

My dream came true. So, what do you want to be in the future?

Student A: I want to be a doctor!

Teacher: Oh, you want to be a doctor. Repeat, everyone. A wants to be a doctor.

Classroom: A wants to be a doctor.

教師：子供の頃、私は先生になりたかったんですよ。そして今、先生です。

夢が叶いました。さて、みんなは将来何になりたい？

生徒 A：私はお医者さんになりたい！

教師：わあ、お医者さんになりたいんだ。みんな、繰り返してみよう。Aさんは医者になりたい。

教室：Aさんは医者になりたい。